



人権特集

人はなぜ差別するのか？

問い合わせ 人権推進担当 ☎38-2055

人権とは、だれもが生まれながら持っている「幸せに生きる」権利です。人が人として幸せに生きていくために必要な、だれからも侵されることのない大切な権利です。しかし、私たちの身のまわりには、だれもがもっている「幸せに生きたい」という願いを踏みにじるさまざまな人権問題があります。同和問題もその中の一つであり基本的人権にかかわる重要な問題です。今回は、ノンフィクションライターの角岡伸彦氏から「人はなぜ差別するのか？」と題して寄稿いただきます。この問題は私たち1人1人の課題であり、自分自身の問題であることを考えてみたいと思います。



大正末期から昭和初期にかけて活躍した詩人の金子みすゞが再評価されて久しい。「みんなが違って、みんないい」という一節を知って、みんな多いのではないだろうか。多文化共生という概念にびつたりくるから、人権教育の中でもよく見聞きするようになった。人と同じことをするのが嫌いな私は、金子のこの詩に共感するところがある。「みんなと同じであること」を強制されるのがつらいのである。服装や髪形、さらには靴下の色まで細かく決められていた中学、高校時代は、毎日が憂鬱だった。季節の変わり目にある衣替えにも違和感があった。なんて半袖から長袖に変わるのを学校が決めるねん、暑さ寒さを感じるにも個人差があるやろ、と少年時代の私はひとり憤っていた。

プロフィール



角岡 伸彦 氏
加古川市に生まれる。関西学院大学社会学部卒業、神戸新聞記者、大阪人権博物館学芸員を経て、現在、ノンフィクションライター。主な著書「はじめての部落問題」(文春新書)、「被差別部落の青春」(講談社文庫)、「ホルモン奉行」(解放出版社)など。

「みんな同じ」はつらい

人間社会は、多様な人々によって構成されている。さまざまな人がいる社会をひとくくりにして語ると、「さあ、きょうはみんなが大好きなハンバーグです!」という料理番組の司会者や講師が「いやいや、ハンバーグが嫌いな人もいるやろ」といって、ハンバーグが嫌いな人の中にいる。あまのじゃくの私は、すかさず心の中でツッコミを入れる。ハンバーグが人気メニューであることは、この私も知っている。私も嫌いな人はない。それでも「みんな」という言葉がひっかかるのだ。「これはみんなが大好きな味です」といって、試食後、司会者やゲストが感想を言う。「その味が嫌いと言った人もおるはずやで!」再び私はテレビ画面を覗きかける。美味を強調しているのはわかるが、人には好き嫌いがいるのを忘れないでほしい。とまあ、青筋立てて言うほどのことではないかもしれないが、

家を守るの大変だ

実は金子の「みんなが違って、みんないい」という一節は半分だけ共感できる。みんなが違う!みんないい!という手放しの多様性の礼賛は人間社会にはあてはめてみることもっと「いやいや、みんな違うから大変だ」と私は言いた。世の中にはいろんな人がいる。障害や病をもつて生まれた人、日本以外の国や地域にルーツを持つ人、さまざまな思想、信仰、性的志向、趣味を持つ人、いろんな人の中に差別排外主義者もいる。「それもいいわ」というわけはかない。それはあかんやろという最低限の基準を設けないと、人を殺してみたくたという人間をも容認してしまうことになる。私の場合、先に述べたように、人と同じことをするのが苦手というだけで十分にマイノリティの資格がある。加えて先祖が賤民であった、部落出身者という立場もある。私自身は先祖の身分や現在の立場を意識することはあまりないのだが、人の出自を気にする人は今でもいる。

〇〇よりマシと思いたい

人はなぜ、差別をするのだろうか。世の中や学校や会社や地域で自分がかたがたに位置しているのかを気にする人は多い。私もそのひとりである。学力、経済力、社会的地位など、自分が上位にいればいいし、下位にいれば悲しい。〇〇よりマシと思えと安心できる。自分がより下だと思っていたら、自分より下と同じものなら、引かず降りたくなくなるほど悔しい。自分が少しでも上位に位置するために、下位と思っている相手の「弱点」を見つけて

る。どんな違いであってもいい。違いなんかなくてもいい。なければつくてしまえばいいのだ。くさくさもないのに「まさい、汚くないのに「バイキン」見たことないのに「お前の母ちゃんデブ」と言っているやし立てる子供と同じである。差別の対象となる違いは、生まれや育ち、先祖の身分に向けられることとある。部落差別である。私はこの人らとは違うという意識が、部落差別を存続させてきた。違いがあるから差別があるわけではない。それにしても部落差別って相当滑稽だ。それは思う。学力や経済力は自分の力で何とかなるが、先祖の身分や生まれ育ちは変えようがない。部落差別は滑稽ではあるけれど、部落は現実にあるし、部落出身者もいる。差別に悲しむ人、気にしないいで



夜間(17:00~9:00)水道修理事当番表【12月】

水道の修理は「芦屋市指定給水装置工事事業者」へ

店名	TEL	当番日
前忠工業㈱	31-8548	1. 7. 13. 19. 25
(資)神明商会	22-3565	2. 8. 14. 20. 26
中央水道工務所	22-3552	3. 9. 15. 21. 27
越智商会	22-3708	4. 17. 23. 29
柳大阪商会	32-6302	5. 11. 24. 30
西岡設備工業所	22-6900	6. 12. 18. 31
原田商会	22-0706	10. 16. 22. 28

問い合わせ 水道工務課 ☎38-2083

芦屋市人権教育推進協議会 記念講演会

変動する地球環境の中で

兵庫県出身の気象予報士・正木明氏は、「おはようコールABC」「おはよう朝日」などでおなじみのお天気キャスターです。その正木明氏を招き、今、地球上で何が起きているのか、沈みゆく島国「ツバル」の現状から見えてくる地球環境について、人権問題とどうつながっていくのか、熱く語っていただきます。

■日時 12月22日(月)午後2時30分~4時30分(2時間開場) <手話通訳・要約筆記あり> ■会場 ルナ・ホール ■申し込み 12月19日(金)までに、はがきまたはファクスで下記へ。 ※託児希望のかたは、子どもの名前・年齢を明記してください。

正木 明 氏
問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091/☎38-2089(〒659-8501 住所不要)

阪神間都市計画決定案の縦覧

問い合わせ 都市計画課 ☎38-2109

この案について、住民および利害関係人は縦覧期間中に市に意見書を提出することができます。ご意見は、都市計画課へ提出してください。

■縦覧件名 阪神間都市計画(芦屋国際文化住宅都市建設計画)地区計画の決定(翠ヶ丘町地区地区計画)(芦屋市決定)案の縦覧



オープンガーデン2009 参加者募集

問い合わせ 公園緑地課 ☎38-2065 (〒659-8501 住所不要)

来年も、芦屋の春を彩る「オープンガーデン2009」を開催します。来春は、新たにウォークラリーを同時開催し、多くのかたに参加してもらえるようにします。日ごろガーデニングをされているかたや、ご自宅の庭(道路から見ただけでも可)を公開していただけるかたの応募、または推薦をお願いします。自治会やグループで管理している公園・公共の花壇・店舗などの参加も大歓迎です。

オープンガーデンパンフレット 掲載の有料広告募集

問い合わせ 公園緑地課 ☎38-2065

来年3月発行の「芦屋市オープンガーデン2009パンフレット」に掲載する有料広告を募集します。詳細は、上記へ。

- 印刷部数 10,000部
- 広告料 入札方式により決定 1枠15,000円
- 募集枠数 10枠程度(カラー刷)
- サイズ 縦34mm×横132mm
- 申し込み 12月24日(水)までに、上記へ

保育所入所児童の受付

来年4月に、保育所に入所希望する乳幼児の、申し込みを受け付けます。

- 対象 市内在住で、保護者が就労等のため保育できない家庭の乳幼児<平成15年4月2日~20年12月31日生まれ>
- 用紙配布 12月1日(月)からこども課窓口で
- 申し込み 平成21年1月6日~23日(土曜・日曜・祝日は除く)の午前9時~午後5時15分に、下記へ。

問い合わせ こども課 ☎38-2045

12月1日▶10日 年末の交通事故防止運動

問い合わせ 防災安全課 ☎38-2093

年末は、師走特有の交通量の増加から、交通事故の多発が懸念されます。また、忘年会等飲酒の機会が増えますが、飲酒運転は絶対にやめましょう。この時期は日の暮れが早く、自転車のライトも早目に点灯しましょう。最近では、電池を使用するライトが重宝されています。明るさをセンサーが自動的に感知し、自転車が動いているときは自動で点灯します。利用希望のかたは、自転車販売店でご相談ください。交通事故を防ぐのは、市民の皆さん1人1人の心掛けです。交通ルールをしっかり守り、交通事故防止を図りましょう。

- 【運動の重点】
- 高齢者の交通安全
 - 飲酒運転の根絶
 - シートベルト(後部座席を含む)・チャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 自転車は夜間ライト点灯

■自転車の交通事故について (10月末現在)

	件数	負傷者
平成20年度	117	121
平成19年度	89	96
増減	+28	+25

国民健康保険 口座振替払いへの変更手続き

問い合わせ 保険医療助成課 保険担当 ☎38-2035

国民健康保険料の支払いを2月から年金で引き落とされるかたのうち、口座振替を希望されるかたは、必ず12月8日(月)までに保険医療助成課で手続きをしてください。12月9日以降に申請された場合は、平成21年4月以降の年金支給からの変更となりますので、ご了承ください。なお、12月の年金からの引き落としを口座振替に変更する手続きについては、すでに終了しています。

【口座振替に変更できるかた】

- ①これまで過去2年間に、保険料の納め忘れがなかったかた
- ②ここからの保険料を、口座振替で納めていただけるかた

【手続き方法】

印鑑・銀行等の口座番号が分かるもの・銀行印(新規で口座振替を申し込みされるかた)を持って、保険医療助成課へ

※保険料を年金から支払われるかたについては、所得税・個人住民税の社会保険料控除は本人(世帯主)に適用されます。 ※年金からの支払いに代えて、口座振替で支払われる場合には、口座振替で保険料を支払ったかたに、社会保険料控除が適用されます。



年末の火災多発期を迎え、12月1日から31日まで「年末特別火災警戒」を実施しています。この時期は空気が乾燥し、出火しやすく火災が広がります。

君がしなくて、誰かを守る。【阪神間統一標語】

①「放火を防ぎましょう」

②「みは決められた日の朝に出しましょう」

③家の回りはいつも、なるべく明るくしておきましょう。

※自治会・管理組合などの訓練指導等をご希望の場合は、消防本部へお問い合わせください。



119番通報は「落ち着いてゆっくりはっきり」と

問い合わせ 消防本部警防課 ☎32-2345

いざというときの備えが大切。電話機のそばに自宅の住所や電話番号などの必要事項を書いたメモを貼っておくなど、落ち着いて正確な通報ができるよう、工夫しましょう。

【119番の正しい利用】

- ①最初に、火事か救急の別をはっきりと「火事です」または「救急です」とはっきりと言います。
- ②発生場所の情報は的確に住所は正しく、目印になる、ビルや公園などの目標物を伝えましょう。
- ③火事・事故等の状況を正確に
- ④通報者の氏名・連絡先を明確に「私の名前は〇〇です」「電話番号は△△-■■■■です」と伝えましょう。

【携帯電話からの119番通報について】

市内から携帯電話で119番をすると、芦屋市消防本部につながります。ただし、芦屋市の市境では、アンテナ設置位置の関係で他都市に入る場合があります。携帯電話で119番をするときは、必ず災害場所の市町名をお知らせください。

消費生活センター 12月の催し

リサイクル教室 はぎで作るクリスマスリース

クリスマス料理

■日時 12月11日(木)午前10時~午後1時 ■会場 市民センター 市民センター 2階

■日時 12月8日(月)午後1時30分~3時30分 ■会場 市役所分庁舎 2階

■日時 12月11日(木)午前10時~午後1時 ■会場 市民センター 料理室

■日時 12月11日(木)午前10時~午後1時 ■会場 市民センター 料理室

問い合わせ 消費生活センター(経済課内) ☎38-2179